

誓約証

東京市日本橋區通三丁目十四番地丸善株式會社ノ整理ニ關シ其取締役タル松下鐵三郎小柳津要人及ヒ其使用人タル金澤井吉中村重久山崎信興齊藤定四郎竹本康治三次半之助金澤末吉川村善之助島村鶴集島崎菊雄渡邊源次郎ノ拾參名ヲ盟約者トナシ金原明善ヲ其對手人トナシ双方ノ爲メニ且盟約者相互ノ爲メニ其利益ヲ保全スルノ目的ヲ以テ各當事者間ニ誓約スル條項左ノ如シ

第一條 盟約者ハ現ニ其保有スル丸善株式會社ノ株券ニ所有名義人ノ賣渡委任狀ヲ付シテ本証書調印ノ日ヨリ十日以内ニ金原明善ヘ預ケ入ルベキモノトス而シテ前記ノ委任狀ハ株券ヲ金原明善ニ預置ク間ハ之ヲ取消スコトヲ得ザルモノトス

第二條 盟約者ハ將來其所有ニ歸シタル株券モ亦前條ニ準シ賣渡委任狀ヲ付シテ直ニ金原明善ヘ預ケ入ルヘキモノトス

第三條 金原明善ハ前二條ニ記載スル株券以外ニシテ尙ホ第三者ノ所有ニ係ル株券ヲ悉ク漸次買收スルコトヲ勉ムベキモノトス又盟約者ハ金原明善ノ株式買收ヲ容易ナラシムル爲メニ常ニ盡力スルノ任ヲ負フモノトス

第四條 金原明善カ第三條ニ依リ株券買收ヲ實行シ爲メニ支出シ

タル資金ニ對スル相應ノ利息金ハ丸善株式會社ヨリ毎計算期ニ於テ金原明善ニ仕拂フベキモノトス又盟約者ハ丸善株式會社ヲシテ本條ニ規定スル利子支拂ヲ爲サシムル爲メニ必ス盡力スルノ責任ヲ負フモノトス

第五條 金原明善ハ何時ニテモ前數條ニ依リ自己ノ占有ニ歸シタル株券中取締役カ其資格ヲ保ツニ必要ナル株數ヲ除キ其餘ノ株券ノ全部又ハ一部ニ對シテハ金原明善若シクハ其代理人又ハ其指名者ヲ所有名義人ト爲スヲ得而シテ其株式所有名義人ハ會社ニ對シテ真正ナル株主タル權利ヲ行使スルコトヲ得ルモノトス

第六條 前條ニ依リ取締役ガ其資格ヲ保ツ爲メニ必要トシテ所有名義ヲ書改メザル株式ノ所有名義人ハ金原明善ノ許諾ナクシテ其所有權ヲ他人ニ移轉スルコトヲ得ザルモノトス

第七條 從來丸善株式會社カ發行シタル社債券ノ內其發行ノ原因審カナラザル者ハ速ニ盟約者ニ於テ收集シテ金原明善ト協議シ適當ノ處分ヲ爲スコキモノトス

第八條 前數條ニ依リテ取締役ノ資格ニ必要ナル株券ヲ除キ自餘ノ株式全部ヲ金原明善ノ占有ニ付シ且發行ノ原因審カナラザル社債券ノ處分ヲ終了シタル上ハ爾後會社ノ純益金ハ左ノ如ク處分スルモノトス

一總純益金ノ二分ノ一 會社ヨリ東里爲換店並ニ金原明善ニ對スル負債ノ返却

一總純益金ノ二分ノ一 役員配當

但シ右ノ如ク定ムルト雖會社ノ總純益金ガ一ケ年金四千圓ノ割合ニ滿タサルトキハ役員配當ヲ廢止シ純益金全部ヲ返濟ニ充ツヘキモノトス而シテ金原明善并ニ東里爲換店ニ對スル負債ノ返却ニ充ツヘキ金額ノ内金原明善ノ許諾アルニ於テハ金原明善以外ノ債務辨濟ニ充ツルコトヲ得ベシ

第九條 第八條ニ依リ受クベキ役員配當金ノ半額(即チ總純益金四分ノ一)ハ金原明善カ第三條ニ依リ株券買收ノ爲メ支出シタル資金ノ返濟ヲ完了スルマテ之ヲ金原明善ヘ預ケ入ルベシ而シテ本條ニ依リテ預ケ入レタル金額ハ下第十六條若クハ第二十條ヲ適用スル場合ニ於テハ之ヲ決算スヘキモノトス

第十條 株券及ヒ社債券ノ處分ヲ終了シタル後第八條ヲ適用シテ純益金ノ分配ヲ爲スベキ時期以前ニ係ル會社ノ利益金ハ總テ會社從來ノ損失金ノ補償ニ充當シ若クハ積立金トシテ蓄積スベキモノトス

第十一條 第九條ニ據リ役員配當金ノ内ヨリ金原明善ヘ預ケ入ヲ爲シタル殘額ハ盟約者各自及其他ノ役員ヘ下廿條ニ定ムル割合ニ準シ分配スベキモノトス

第十二條 盟約者ハ丸善株式會社カ金原明善及東里爲換店ニ對シテ負擔スル債務ノ辨濟ニ就キ其保證人タルコトヲ認諾シタルモ

ノトス就テハ既ニ丸善株式會社ヨリ前記負債ノ抵當トシテ其動產悉皆ヲ書入アルヲ以テ他ノ債權者ヨリ右動產ヲ差押ユル等ノ危險アル場合ニハ盟約者ハ速ニ金原明善ヘ書入動產ヲ引渡スヘキモノトス若シ盟約者ニ於テ本條ノ義務ニ違背シ爲メニ金原明善ニ損害ヲ生セシムルトキハ金原明善ハ本誓約證ノ義務ヲ免脫スルモノトス

第十三條 金原明善若クハ其代理人ハ何時ニテモ丸善株式會社ノ取締役トナルノ權利ヲ留保スルモノトス故ニ金原明善若クハ其代理人ヨリ取締役トナランコトヲ要求シタル時ハ盟約者ハ速ニ之ヲ承諾シ金原明善若クハ其代理人ノ就職スルニ便利ナラシムベキモノトス又盟約者ノ内ニテ株式所有名義人ハ異議ナク金原明善若クハ其代理人ヲ取締役ニ擧スベキモノトス

但シ金原明善ハ自己及東里爲換店ヨリ丸善株式會社ニ對スル債權ガ金貳萬圓^(未)減額シタルトキハ本條ノ權利ヲ失フモノトス

第十四條 金原明善若クハ其代理人ハ第十三條ニ依リ取締役トナラザル以前ト雖丸善株式會社ニ就キ何時ニテモ其諸帳簿ヲ閱覽シ其他監督上必要ナル一切ノ書類ヲ檢閲シ且ツ必要ニ從ヒ取締役及ヒ使用人ニ對シ業務上ノ説明ヲ求ムル權利アルモノトス

第十五條 金原明善若シクハ其代理人ハ何時ニテモ丸善株式會社

ノ營業ニ于與スルコトヲ得ルモノニシテ其取締役及使用人ハ會社ノ重要ナル事件ヲ處理スルニ當リテハ豫メ金原明善若クハ其代理人ノ承認ヲ受クルノ義務アルモノトス特新タニ債務ヲ負擔スル場合ニハ其金額期限債權者及ヒ附帶ノ約項ニ關シテ必ス豫メ金原明善ノ許諾ヲ受クベキモノトス

第十六條 本誓約書ノ日附ヨリ向フ十五ヶ年内ニ於テ金原明善及東里爲換店ヨリ丸善株式會社ニ對スル債權并ニ第三條ニ依リ金原明善ガ株券買收ノ爲メ費シタル資金全部ノ辨濟ヲ受ケタルハ金原明善ハ何時ニテモ本誓約ニ據リ其占有シタル丸善株式會社ノ株券全部ヲ盟約者ヘ返戻スベキモノトス此場合ニ於テハ金原明善ハ自己若クハ其代理人又ハ指名者ノ名義ヲ書改ムルニ必要ナル委任狀ヲ添付スル義務アルモノトス

但シ金原明善ハ盟約者全人員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ株券ノ返戻ヲ要求サルハニ非ラサレハ返戻スル義務ナキモノトス

第十七條 盟約者ハ會社ノ事務ヲ處理スルニ當リ正整ナル商人ガ自己ノ業務ニ於テ爲スト等シキ勉勵注意ヲ爲ス責務アリ此責務ニ背キ會社ニ損害ヲ生セシメタルトキハ之ヲ賠償スルノ義務ヲ負フモノトス

第十八條 松下鐵三郎小柳津要人以外ノ盟約者ハ自己ノ給料報酬等ノ多少若クハ其擔任事務又ハ任地ノ好惡等ニ付テハ自ラ請求

スルコトヲ得ズ依テ此等ノ事項ニ關シ金原明善松下鐵三郎小柳津要人ノ三名カ協議シテ定メタル命令ニ對シテハ異議ヲ唱ヘザルハ勿論總テ服從ノ義務アルモノトス

第十九條 盟約者ニシテ前第十七條若クハ第十八條ノ責務ニ背キ若クハ本誓約書ニ定ムル他ノ條項ニ違背シタルトキハ金原明善ハ他ノ盟約者ノ過半数ノ同意ヲ得テ該違約者ヲ除名スルヲ得ベシ此場合ニ於テ除名セラレタル盟約者ハ其餘名ヲ理由トシテ他ノ盟約者若クハ會社ニ對シ何等ノ請求ヲモ爲シ得ザルモノトス第二十條 第十六條ニ依リ金原明善及東里爲換店ニ對スル債務ノ全部ヲ辨濟シタル時又ハ其以前ニ於テモ會社株式ノ全部ヲ盟約者ノ手ニ收集シ發行ノ原因審カナラザル社債券ノ處分ヲ終リ且ツ會社ノ資本ガ確實ニ五萬圓以上トナリテ金原明善ハ勿論其他ノ債權者ノ總員ガ異議ナキ場合ニ到ル時ハ會社資本ヲ左ノ割合ヲ以テ各自ノ所有名義ニ分割シ各其所有者ト爲スベキモノトス

會社資本金千分ノ百八拾 松下鐵三郎ノ所有トス

全 千分ノ百五拾 小柳津要人ノ所有トス

會社資本金千分ノ八拾 金澤井吉ノ所有トス

全 千分ノ七拾 中村重久ノ所有トス

全 千分ノ六拾五 山崎信興ノ所有トス

全 千分ノ六拾五 齊藤定四郎ノ所有トス

全 千分ノ六拾 竹本康治ノ所有トス

全 千分ノ五拾 金澤末吉ノ所有トス

全 千分ノ四拾 三次半之助ノ所有トス

全 千分ノ三拾四 川村善之助ノ所有トス

全 千分ノ二拾二 島村鶴集ノ所有トス

全 千分ノ二拾二 島崎菊雄ノ所有トス

全 千分ノ二拾二 渡邊源次郎ノ所有トス

全 千分ノ百四拾

其ノ他ノ使用人ニシテ從來會社ニ對シ功勞アル者又ハ會社

ニ對スル功勞者ニ分配スベキ高

但シ末項千分ノ百四拾ハ其當時ニ於テ盟約者一同ノ協議ニ依

リ其分配方法ヲ定ム

第二十一條 前條ニ據リ會社ノ資本ヲ新タニ各持主ニ割宛テタル

上ハ盟約者ノ人員及ヒ金額ノ過半數ノ決議ニ從ヒ從來ノ株式組

織ヲ合名會社合資會社又ハ之ニ類スル組織ニ改正スヘキモノト

ス

第二十二條 前條ノ場合ニ於テハ金原明善ハ新タニ成立スル會社

ノ出資者トナルヲ欲スルトキハ金五萬圓以下ニテ任意ノ高ヲ別

ニ出資シテ社員ノ一人トナルコトヲ得ルモノトス但シ此場合ニ

於テハ金原明善ノ出資額ヲ會社ノ全資産ノ實價ニ比例シテ會社

ニ對スル其權利額ヲ定ム可キモノトス

第二十三條 前第二十條ヲ適用シテ會社資本ヲ各所有名義人ニ割

宛ツル以前ニ盟約者ノ一人又ハ數人カ病氣其他ノ事故ニテ退社

スル場合ニ於テハ其他ノ盟約者ノ評議ニ依リ退社ノ理由ヲ正當

ナリト認定シタルトキハ第二十條ニ依リ退社者ノ持分ニ歸スベ

キ割合ノ半額ヨリ少カラザル範圍内ニテ第二十條ニ依リ盟約者

一同ガ各々其持分ヲ決定スル時期ニ至リ退社者其相續人又ハ遺

族ニ若干ノ金額若クハ之ニ相當スル出資証ヲ贈與スヘキ旨ヲ決

議スルモノトス若シ退社者以外ノ盟約者ガ退社ハ不正ノ行爲ニ

基キ又ハ正當ノ理由アラザルモノト認定シタルトキハ退社者ハ

本誓約ニ基キタル一切ノ權利ヲ失フモノトス

但本條ノ決議ニハ退社者以外ノ盟約者人員ノ過半數ノ同意ヲ要

ス而シテ退社者其相續人又ハ遺族ハ本條ニ定ムル贈與ニ關スル

評議ノ結果ニ對シテハ何等ノ異議又ハ請求ヲ爲スコトヲ得ザル

モノトス

第二十四條 金原明善ハ第十六條若クハ第二十條ヲ適用スル以前

ニ於テ會社ノ損益相償ハザルカ又ハ不測ノ損失ヲ蒙リ今後新タ

ニ金壹萬圓以上ノ損失金ヲ生シ將來會社維持ノ方法困難ナリト

認ムルトキハ會社ノ資産負債全部ヲ金原明善ニ引受ケ自己單獨

ノ營業ト爲スコトラ得ベシ此場合ニ於テハ盟約者若クハ第二十三條ニ依レル退社人又ハ其承繼者ハ金原明善ニ對シテ何等ノ請求ヲモ爲スコトラ得ザルモノトス

第二十五條 盟約者ハ第十六條若クハ第二十條ノ適用ヲ本誓書ノ日附ヨリ向フ十五ヶ年內ニ實施セサルトキハ金原明善ハ第二十四條ヲ適用シテ丸善株式會社ヲ自己單獨ノ營業ト爲スコトラ得ベシ

第二十六條 第二十四條又ハ第二十五條ノ場合ニ於テハ取締役名義ノ株式ハ無代價ニテ其名義人ヨリ金原明善ヘ譲與スベキモノトス

第二十七條 第九條ニ依リ株券買收資金ノ返済ニ充ツル爲メ金原明善ヘ預ケ入タル金員ハ第二十四條又第二十五條ヲ適用シタル場合ニ於テハ盟約者ヘ之ヲ返戻セズシテ金原明善ノ損害金補償トシテ其所得ニ歸スベキモノトス

第二十八條 本誓約證書ニ明記スル金原明善ノ權利義務ハ其相續人若クハ承繼人ニ承繼シ得ルモノトス

第二十九條 金原明善並ニ東里爲換店ト丸善株式會社トノ間ニ成立スル權利義務ハ此誓約ノ成立ノ故ヲ以テ影響ヲ受クルコトナキモノトス

第三十條 本誓約証書中ノ條項ヲ改正増補スルノ必要アルトキハ

第二十條第二十三條ヲ除ク外ハ金原明善松下鐵三郎小柳津要人ノ三名ニテ協議シ二人ヨリ少カラザル其他ノ盟約者ノ同意ヲ得ルニ於テハ之ヲ改正増補スルコトラ得ルモノトス此場合ニ於テ其改正増補ハ他ノ盟約者ヲ羈束スルノ效力アルモノトス右ノ條々誓約シタル証トシテ同文ノ本証書十四通ヲ作り各々記名調印シ各自一通ヲ保有スルモノナリ

明治三十一年五月廿日

日本橋區北鞘町五番地

金原 明善

本郷區西片町十番地

松下鐵三郎

本郷區駒込千駄木林町百十三番地

小柳津要人

本郷區森川町壹番地

金澤 井吉

本郷區森川町壹番地

中村 重久

日本橋區通三丁目拾四番地

山崎 信興

日本橋區通三丁目拾四番地

齊藤定四郎

大阪市東區北久寶寺町四丁目百五番邸

代理

金澤 末吉

金澤 井吉

神田區末廣町三十八番地

三次半之助

日本橋區芳町六番地

川村善之助

本郷區根津宮永町三十七番地

島村 鶴集

本郷區森川町一番地

島崎 菊雄

淺草區小嶋町拾九番地

渡邊源次郎

日本橋區北鞆町五番地

金原明善承繼人 金原巳三郎

〔注〕 誓約証

この誓約証は鈴木仁一郎の立案によるもので、丸善株式会社の財政整理に關して金原明善と丸善株式會社松下鐵三郎、小柳津要人等十一名の盟約者との間に、明治三十一年五月二十日交されたものである。

契 約 証

東京市日本橋區通三丁目十四番地丸善株式會社ノ株式買入ニ關シ松下領三小柳津要人金澤井吉中村重久山崎信興齊藤定四郎竹本廉治三次半之助金澤末吉川村善之助島村鶴集島崎菊雄渡邊源次郎ノ拾參名組合ヲ爲シ金原巳三郎若クハ金原銀行ヨリ買入資金ヲ借用スルニ付双方ノ爲ニ且組合員各自ノ爲ニ其利益ヲ保全スルノ目的ヲ以テ各當事者間ニ契約スル條項左ノ如シ

第壹條 組合員カ從來所有スル丸善株式會社株券ノ内重役ノ資格ヲ得ルニ必要ナル株式九拾株ヲ除キ其餘ノ株壹千六百六拾四株及全社債券面壹萬千八百圓ヲ擔保トシテ金原巳三郎ハ（貸付ヲ金
リ爲スコト）其買入資金壹萬貳千圓ヲ組合員ニ貸與スルモノトス

第貳條 組合ハ今日尙ホ組合員及金原巳三郎以外ノ所有ニ屬スル

丸善株式會社株式ノ買入ヲ爲スコシ此場合ニ於テ金原巳三郎ハ

買入タル株式ヲ質物トシテ其買入資金ヲ組合ニ貸與スコシ而シ

テ新タニ資金借入ヲ必要トセサルハト雖モ新タニ買入タル株式

ハ總テ金原巳三郎ヘ増擔保トシテ預ケ入ルヘシ

但シ其買入價格カ不當ナリト金原巳三郎ニ於テ認ムルハ其買

入資金ヲ貸與セザルベシ

第參條 組合ヨリ第壹條第貳條ノ借用金ヲ爲スルハ其都度金原已三郎若クハ金原銀行ニ對シ借用金証書ノ差入ヲナスヲ以テ利息其他ノ條件ハ總テ其証書ニ遵據スヘキ者トス

第四條 金原已三郎若クハ金原銀行ヨリ組合及丸善株式會社ニ對スル從來ノ債權并ニ將來新タニ生スル債權ハ組合員一同連帶シテ辨濟ノ義務ヲ負擔スルモノトス

第五條 組合員カ第拾貳條ニヨリ丸善株式會社ヲ解散シ新タナル會社ヲ設立スル場合ニ於テ金原已三郎ハ金五千圓ヲ出金シテ組合財産壹千分ノ五拾ノ權利者タルコヲ得ルモノトス

但シ金原已三郎ハ都合ニ依リ此權利ヲ行ハザルコアルベシ

第六條 組合員ハ金原已三郎若クハ其代理人ヲシテ組合ノ諸帳簿并ニ諸勘定表ヲ自由ニ閲覽セシムヘシ

第七條 金原已三郎若クハ其代理人カ丸善株式會社及組合ノ計算管理上ノ必要ヨリ丸善株式會社ノ取締役若クハ監査役トナルコヲ組合員ニ要求スルルハ各組合員ハ速ニ其要求ヲ容レ丸善株式會社ノ臨時總會ヲ開キ直チニ其選舉ヲ行フノ手續ヲ爲スヘシ

但シ金原已三郎及金原銀行ヨリ丸善株式會社并ニ組合ニ對スル債權金高貳萬圓以下トナリタルルハ金原已三郎ハ本文ノ權利ヲ失フモノトス

第八條 組合ニ於テ會議ヲ開クルハ金原已三郎若クハ其代理人其

會議ニ臨席シテ決議ノ數ニ加ハルコトヲ得ヘシ
但シ組合ノ代表者ハ本文ノ開會ヲ爲ス一日前ニ金原已三郎ニ會議ノ事項ヲ通知スル義務アルモノトス

第九條 第壹條ノ株券ノ内壹百株ハ金原已三郎若クハ其代理人カ第七條ニ依リ丸善株式會社ノ取締役若クハ監査役トナリ又ハ全會社ノ總會ヘ臨席スル等ニ必要ナルヲ以テ金原已三郎若クハ其代理人ノ名義トナスヘシ然レモ金原已三郎或ハ其代理人ハ其配當金ヲ取得シ又ハ株式ノ所有權ヲ主張スルコトナカルヘシ

第拾條 金原已三郎ハ左ノ場合ニ於テ組合ニ對スル債權額ヲ以テ自己ノ占有スル株券及社債券ヲ買取其代價ト債權額トヲ相殺スルコトヲ得

一 組合員カ第六條第七條第八條ノ義務ヲ怠リタルル

二 第拾壹條若クハ第拾參條ノ履行ヲ本日ヨリ拾參ヶ年間ニ爲サヘルル

三 丸善株式會社カ營業上甚タシキ失敗ニ依リ金貳萬圓以上ノ損失ヲ爲シ營業繼續ヲ金原已三郎カ困難ト認ムルル

第拾壹條 組合ニ於テ丸善株式會社ノ株式全部ヲ買收シテ組合ノ所有ト爲シ且金原已三郎ニ對スル組合ノ債務ヲ辨濟シタルルハ丸善株式會社ヲ解散シ組合員ト金原已三郎ヨリ成レル合名會社若クハ其他類似ノ會社ト爲スヘキモノトシ其場合ニ於ケル組合

員各自ノ權利額ハ左ノ割合トス

松下領三持分

會社資本金千分ノ百八拾

小柳津要人持分

百五拾

金澤井吉持分

八拾

中村重久持分

七拾

山崎信興持分

六拾五

齊藤定四郎持分

六拾五

竹本廉治持分

六拾

金澤末吉持分

五拾

三次半之助持分

四拾

川村善之助持分

參拾四

島村鶴集持分

貳拾貳

島崎菊雄持分

貳拾貳

渡邊源次郎持分

貳拾貳

金原巳三郎持分

五拾

未定

九拾

但シ末項千分ノ九拾ハ豫メ其獲得者ヲ定メスシテ本條ヲ適用スル時期ニ於テ丸善株式會社ノ功勞者二分與スヘキモノトシ其人名及額ハ其當時ノ組合代表者ノ發議ニ依リ組合員過半數ノ同意ニ依リ之ヲ決ス

第拾貳條 第拾壹條ノ場合ニ於テ金原巳三郎ヨリ出金スル金五千

圓ハ新會社ノ資本ニ組込ムカ又ハ組合員ノ利益トシテ前條ノ割合ニ分配スルカ或ハ組合員一同ノ名義ニテ或ル慈善事業ニ出金スルカ等ニ付其當時ノ代表者ト金原巳三郎ト協議シテ決定スヘキモノトシ他ノ組合員ハ本金處分ニ付異議ヲ唱フルコトヲ得サルモノトス

第拾參條 組合ヨリ金原巳三郎若クハ金原銀行ニ對スル債務ヲ辨濟シ終ルモ尙丸善株式會社ノ株式全部ヲ買入ルハ能ハサルトキハ本契約者四分ノ三以上ノ多數決ニ依リ丸善株式會社ノ株式及其他組合ノ財産ヲ前第拾壹條ノ割合ニ依リ分配スルコトアルヘシ此場合ニ於テ金原巳三郎ハ金五千圓ヲ出金シテ其當時ニ於ケル組合總財産ノ千分ノ五拾ヲ取得スル權利ヲ有ス但シ金原巳三郎ヨリ出金スル金五千圓ニ付テハ前第拾貳條ヲ準用ス

第拾四條 小柳津要人ヲ組合代表者トシ左ノ組合ノ業務執行ヲ委任シ置クモノトス

- 一 丸善株式會社ノ株式ヲ買收スルコト及其買入資金ノ必要ニ應シ金原巳三郎若クハ金原銀行ヨリ借用金ヲ爲スコト
- 一 組合所有ニ屬スル株券社債券ノ利子若クハ配當金ヲ受取又ハ借用金元本及利子ヲ仕拂フコト

一 組合ノ業務執行ニ必要ナル諸經費ヲ仕拂フコト

一 組合ニ於テ今後買入レタル株式名義ヲ便宜組合代表者ノ

名義トナスコト

第拾五條 組合代表者ノ外其他ノ組合員ハ組合ノ財産又ハ事務ニ

付協議會ニ於テ發言スルノ外權利ヲ主張セサルモノトス

第拾六條 組合ノ代表者ハ毎年貳月丸善株式會社通常總會一週間

前組合ノ協議會ヲ開キ組合ノ會計其他處務ノ要件ヲ組合員一同

ニ報告シ其承認ヲ受クヘキモノトス

第拾七條 組合ノ代表者ハ丸善株式會社ノ前條總會及臨時總會ニ

於テ議決スヘキ議案ヲ調製シ丸善株式會社ノ總會一週間前ニ組

合ノ協議會ヲ開キ組合員過半数ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス組合員

ハ協議會ニ於テ決定シタル事項ニ付丸善株式會社ノ總會ニ於テ

其決定ト異ナル議決ヲ爲スコトヲ得サルモノトス

第拾八條 組合代表者ノ内一人若クハ兩人不得止事故ニ依リ丸善

株式會社ノ重役ヲ辭スル事アルハ組合ノ代表者タルコトモ辭

スヘキモノトシ其他ノ組合員タル丸善株式會社ノ重役中ヨリ組

合員參分貳以上ノ同意ヲ以テ直チニ補缺撰擧ヲ爲スヘシ

新タニ撰出スヘキ代表者ハ金原巳三郎ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第拾九條 組合ノ代表者が本組合ヲ代表シテ爲シタル債務ニ付テ

ハ組合員ハ總テ連帶ノ責任アルモノトス

但シ金原巳三郎ハ本條ノ責任ヲ負擔セス

第貳拾條 左ニ列記スル事項アリトシ組合員四分ノ參以上ノ多數

決ニ依リ除名ヲ決議セラレタル組合員ハ此決議ニ對シ異議ヲ唱

フルコトヲ得ス

一 組合員カ丸善株式會社ノ職員トシテ丸善株式會社ノ事務ヲ

執ルニ當リ正整ナル商人カ自己ノ營業ヲ爲スト同一ノ注意ヲ

缺キタルトキ

二 故ナク丸善株式會社ノ職員タルヲ辭スルカ若クハ丸善株式

會社ノ重役ヨリ命セラレタル任務ヲ盡サヘルトキ

三 本契約規定ノ一條若クハ數條ニ背キ又ハ組合員ノ多數ノ不

利益ヲ惹起スルノ行爲ヲ爲シタルトキ

但シ此決議ハ代表者及金原巳三郎ノ發議ニ依ルノ外其他ノ組合

員ハ發議ノ權利ナキモノトス

前項ニ依リ除名セラレタル者ハ組合財産ニ對スル權利ヲ失フモ

ノトス

第貳拾壹條 組合員ノ内死亡若クハ隱居等ニ依リ丸善株式會社ノ

職員タルコトヲ辭スルハ他ノ組合員過半数カ相續人ノ組合員

タルコトヲ承諾セサル場合ニ於テハ其權利價格ヲ他ノ組合員ノ

過半数ノ決議ニ依リ評價シ其代金ヲ相續者ハ分與スヘシ組合員

カ前項ノ外法定ノ原因ニ依リ組合ヨリ脫退シタルトキモ亦前項

ノ例ニ依ル

第貳拾貳條 第拾壹條若クハ第拾參條ヲ適用セサル前ニ於テ組合

所有ノ株券社債券等ヨリ生スル收入金ハ組合ノ債務ヲ辨濟シ終
ルモ尙配當ヲ爲サ、モ^マノ^マトシ組合財産トシテ積立置クヘキモノ

トス

第貳拾參條 第拾壹條ヲ適用シテ新タナル會社ヲ設立スル場合ニ

於テ其定款ハ代表社員及金原巳三郎ト協議シテ假定款ヲ作り組

合員過半數ノ同意ヲ得テ決定スヘキモノトス

右契約シタル証トシテ契約當事者各自記名調印スルモノナリ

明治參拾四年八月一日

日本橋區北韃町五番地

金原巳三郎

本郷區西片町拾番地

松下領三親權者

松下 要

本郷區駒込千駄木林町百拾參番地

小柳津要人

本郷區森川町壹番地

金澤 井吉

本郷區森川町壹番地

下谷區竹町壹番地

中村 重久

山崎 信興

日本橋區通三丁目十四番地

齊藤定四郎

京橋區南韃町十七番地

竹本 康治

本郷區森川町壹番地

金澤 末吉

神田區末廣町三十八番地

三次半之助

深川區常磐町一丁目七番地

川村善之助

本郷區根津宮永町三十七番地

島村 鶴集

本郷區森川町壹番地

島崎 菊雄

右代理人 金澤 井吉

本郷區駒込千駄木林町八十二番地

渡邊源次郎

〔注〕
契約証

この契約証は明治三十一年以後丸善の経営が順調に運び、会社の内容も充実してきたことに鑑み、新たに前出の誓約証の内容を変更することになり、明治三十四年八月一日金原明善の養孫金原巳三郎と盟約者（松下鐵三郎死去により小柳津要人代表）十三人との間に新たに交されたものである。

新たに交された契約証と誓約証との主な相違は、

- (イ) 従来東里為替店と丸善との関係を金原銀行と丸善との関係に移したこと。
- (ロ) 発行原因不明の社債買収の條項を欠くこと（この時迄に空社債券の買収を終了）。
- (ハ) 整理終了後改組の際、金原巳三郎の最高出資額を五万円より引下げたこと。

契約書

今般株式會社早稻田大學出版部及合資會社早稻田大學出版部代理部ト丸善株式會社トノ間ニ左記ノ家屋及商品等ノ讓渡ヲ爲スニ關シ契約スルコト左ノ如シ

但シ株式會社早稻田大學出版部ヲ甲トシ合資會社早稻田大學出版部代理部ヲ乙トシ丸善株式會社ヲ丙ト稱ス

一 甲ハ甲ガ所有スル東京市牛込區早稻田鶴卷町四百四拾番地所在ノ家屋三棟三戸（別紙圖面添付）及電話（牛込三八〇五番）

一個ヲ合計金壹萬八千圓也ヲ以テ丙ニ讓渡スルコト

一 丙ハ甲ヨリ前記建物及電話所有權移轉ノ手續ヲ受クルト同時ニ甲ニ對シテ金壹萬八千圓也ヲ支拂フコト

一 乙ハ乙ガ前記甲ノ所有家屋一部ヲ借受經營スル店舗ノ營業權及其商品什器造作等ノ全部（乙ヨリ丙ニ提示セル資產表ニ依ル）ヲ合計金壹萬四千圓也ヲ以テ讓渡スルコト

一 丙ハ乙ヨリ前記商品其他ノ引渡ヲ受クルト同時ニ乙ニ對シテ金壹萬四千圓也ヲ支拂フコト

一 丙ハ乙ヨリ前記引渡ヲ受クル際商品ノ棚卸ヲナシ萬一其商品ノ棚卸金額（實價ヨリ一割五分ヲ引去リタルモノ）ガ資產表

記載ノ金額ヨリ壹割以上不足ヲ生ジタル場合ハ右不足金ニ對

シ乙ト協定ノ上右讓受金壹萬四千圓也ノ中ヨリ差引乙ニ支拂

フコト

一 甲ハ甲ガ前記建物一部ノ敷地トシテ財團法人早稻田大學ヨリ

借用シ居ル土地七坪五合ハ地代ヲ徴セザル代リニ同大學ニ於

テ必要ヲ生ジタル場合ニハ無償ニテ異議ナク返還スベキ條件

ナルガ故ニ甲ハ同一條件ヲ以テ右地所ヲ丙ニ貸渡スコト

一 乙ガ經營中ニ屬スル仕入商品若クハ委託品等ニ關シ今後萬一

他ヨリ代金ノ請求アリタル場合ハ總テ乙ニ於テ之ヲ引受其支

拂ヲナスベキコト

右契約ヲ締結シ正本三通ヲ作成シ各壹通ヲ所持スルモノ也

大正十五年十月二十日

東京府豊多摩郡戸塚村下戸塚五拾八番地

株式會社早稻田大學出版部

取締役理事 種村 宗八

東京市牛込區早稻^{マダ}鶴卷町四百四拾番地

合資會社早稻田大學出版部代理部

代表社員 小久江成一

東京市日本橋區通參丁目十四十五番地

丸善株式會社

取締役 山崎 信興

〔注〕 契約書

大正十五年早稻田出張所新設のため、早稻田大學出版部代理部の建物及商品什器造作一切の買収に際し結んだ契約書。早稻田出張所は同年十一月六日より營業開始。